

登録団体活動紹介

峠の分校



～名取市協働提案事業「消防団を知ってもらい隊」～

令和3年度名取市の行政提案型協働提案事業で採択され、名取市消防本部総務課との協働事業がいよいよスタートします。名取市の小学生とプログラミングのワークショップ事業について、代表の山岸恭一さんからの寄稿をご紹介します。

峠の分校とは

峠の分校は、プログラミングを活用した新しい情報の発信と精神障害者の社会参加を目的に2018年から活動している団体です。プログラミングを活用することで情報の発信のあり方を楽しくもっと身近な存在にしたいと考えています。プログラムの有効活用と必要な技術の向上を図ることにより身体障害の有無に関わらず専門分野の異なった会員が、広報におけるオブジェ（文字・写真・イラスト）に動きと変化をもたらす機会と場づくりを目指します。さらには行政、企業の施策と連携する事により広報の革新に寄与することも活動目的としています。

名取市消防本部との協働事業

消防団は名取市の多くの場所で地域の安全・安心を確保するための活動をしています。その団員数は減少しつつあります。峠の分校の持つスキルで消防団員増加の一助になることを考えた結果、消防団の役割や市民の目に直接触れる機会が少ない活動内容について、①楽しいアニメ動画や市内探検ゲームをプログラミングすることで消防団の活動を疑似体験する内容、②消防イベント時の使用を想定した「動くパネル」を製作して提供することで、消防団の理解を深めてもらう提案に至りました。対象は、将来の消防団員担い手となりうる子どもたちです。

また、今回の提案では、当団体の考えを説明し協力をお願いしたところ、名取北高校奉仕活動部と障害者就労支援事業所 manabyCREATORS から協力をもらえることになりました。

子どもが好きなアニメゲームを用いた

子どもたちは、日頃からアニメ動画やゲームにごく自然に触れ、楽しんでいます。誰かが作ったものではなく、自分で作ることができる技術（プログ

ラミング）を使ってプロ並みではなくてもアニメ動画やゲームを作ることができれば、消防団の活動を生き生きと、魅力的に、子どもならではの視点で紹介してくれることでしょう。そこで、小学生を対象とした4回連続のプログラミングワークショップを企画しました。ワークショップ終了後には、自分だけの作品が完成します。作品を友だちや家族に紹介し話題にすることで、消防団の活動を多くの方に知ってもらうことができたらと考えています。

多様なセクターの協力を得て

今回のワークショップで小学生をサポートするのは、名取北高校奉仕活動部の皆さんです。プログラミングの事前研修を受け、参加した小学生の全員が成果をだせるように準備をしています。教材はmanabyCREATORSと連携して製作しています。

今回企画したワークショップのほかにも、消防団を広く知ってもらうため、消防団をテーマとした動くパネルを製作し名取市のお祭りや消防の催しに出展し、参加した子どもたちが触れて、動かして、楽しむことができる機会を作る予定です。

今回の協働提案事業への参画は、優れた能力を有しながらも社会との接触が苦手な者にとり、自信と精神の安定を維持する良い機会になりました。また、峠の分校の活動に理解を示してくれた名取北高校奉仕活動部の皆さんやmanabyCREATORSの皆さんとのつながりもうれしい収穫です。名取市消防本部、峠の分校、そして協力してくださる皆さんと力をあわせて、協働提案事業を実施していきたいと考えています。

問合せ先 峠の分校

電話：090-2972-4192（代表：山岸）

メール：yamagishi579@gmail.com